

第1回 R I N K 釧路まちづくり交通戦略会議（書面会議）の開催概要について

1. 開催日時など

日 時 2020年（令和2年）5月13日（水） 14:00～16:00
場 所 釧路市役所 防災庁舎5階 会議室A・B

上記の日時で開催を予定していたが、5月1日（金）に書面会議とすることに決定した。
それに伴い、上記日程の前後で、市外在住のメンバーに対してはメール等でデータを送り意見を頂いている。

また、市内在住のメンバーについては、都合のつく方には、市が直接説明に伺い意見を頂いている。

その他

○冬季間の歩行者交通を確保して、賑わいにつなげたい。積雪寒冷地の他都市や外国ではどのような対策をしているのか調べてほしい。

○現行の駅周辺の問題点の一つに、釧路バス、阿寒バス以外の観光用の貸切バス駐車場が無いことが上げられる。駅南北のどちらかに札幌駅北口のような貸切バス駐車場の整備を希望する。

○駅舎の中に、釧路空港のようなレンタカー各社が集まるカウンターがあれば、観光客の利便性が向上する。

2. メンバー表

事務局を含め総勢29組織

別紙：説明資料2を参照

3. 主な議事

(1) 都心部地区交通戦略の策定について

(2) 都心部交通の現況について

別紙：説明資料3を参照

4. 主な意見など

市が考える将来交通ネットワーク（案）について

○人と公共交通の中心のまちづくりには賛成。通過するだけの交通からは何も生まれない。車から人を降ろし、歩かせることが消費につながる。

○将来交通ネットワークについて理解する。人と公共交通のまちづくりを行うため、大型車などが駅前を通過しないよう、行政側から強く情報発信を行った方がいいのかもしれない。

北大通などの新しい街路空間のイメージについて

○北大通の歩道拡幅による公共空間の利活用については、気候風土を踏まえた居場所づくりや、子供が遊べるくらいの安全な空間を作り出すことが有用。

○北大通などの沿道に一定時間、自動車が停車できるスペースがあれば、市民の利便性が高まるのではないか。

○駅前広場の空間づくりについて、限られた土地利用需要を逆手にとった「圧倒的なオープンスペース」を持つ駅前といった視点が重要である。

【参考例】人が主役となる駅前空間の参考事例 兵庫県姫路市 駅前広場



【参考例】人が主役となる道路の歩行空間利活用の参考事例 愛媛県松山市 花園町通り



（写真出典：ソトノバ 車より人を主役に！地域の commonspace として再生した道路「松山・花園町通り」）